

## 議題名 「最後の運動会を最高の運動会にしよう」

第6学年 学級活動（1）

### ◆本実践の概要

本実践は運動会を前に自身や学級の問題点に気づき、よりよい学級にするために、運動会にどのような目標をもって取り組めばよいかを話し合う活動である。1人1台端末を活用し、個人の思いや願いを伝え合った上で、学級目標を合意形成していく姿を期待した。

### 1 議題について

議題名 「最後の運動会を最高の運動会にしよう」

学級活動（1） 「学級や学校における生活づくりへの参画」

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

### 2 学級活動（1）で育成を目指す資質・能力

- 学級における集団活動や自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。
- 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- 学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して、集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

### 2 第5学年及び第6学年の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
多様な他者と協働する学級や児童会などの多様な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。	集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、意見の違いや多様性を踏まえ、よりよく合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。	自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や生活上の諸問題を解決し、よりよい生活や人間関係を形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

### 4 議題設定の理由

6年生にとって最後の運動会となる。演技・競技や係活動、縦割り活動など、それぞれの立場で運動会へ参加することになる。そのため多くの児童は運動会への関心が高く、自分事として捉えている。

また、運動会は一年間の真ん中に位置し、卒業に向けての折り返しの時期である。運動会を通して、どのような学級にしていきたいか。よりよい学級にするためにどうすればよいかを考える機会

と捉えている。以上のような理由から、運動会を議題として取り上げる。議題の選定においては、学級役員を中心とした計画委員会で選定する。

#### 4 本時までの活動の流れ

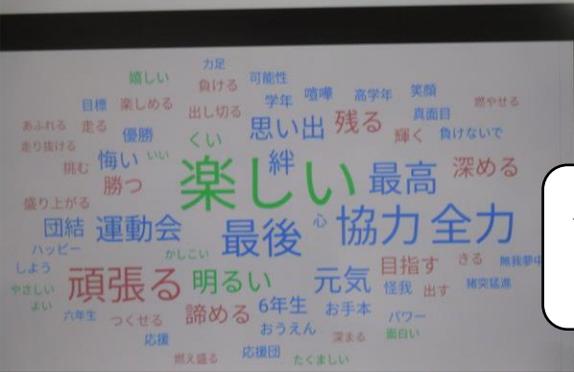
##### (1) 評価と指導の計画

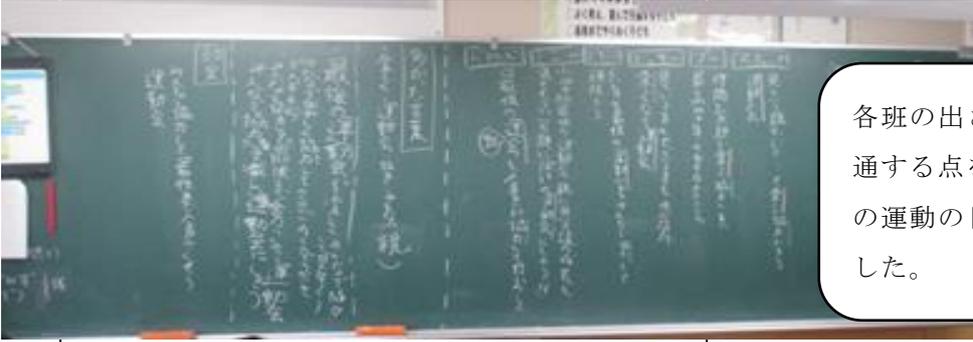
日時	児童の活動内容	指導上の留意点	目指す児童の姿 【観点】(評価方法)	
事前	8/30 (火) 朝学習	○理想とする運動会や運動会に参加する自分の姿のイメージを膨らませる。	最後の運動会という意識をもたせることで、理想とする運動会や学級や自分自身の姿のイメージをもたせる。	運動会の理想像や自分の参加する姿を想像しようとしている 【主体的】(観察)
	【随時】 休み時間	○学級会運営に関する打合せ。(計画委)	負担になり過ぎないように、適切にサポートする。	
	9/2 (金) 朝学習	○運動会の学級目標に入れたい言葉をスプレッドシートに入力する。	入力された言葉を集約できるようにスプレッドシートに入力させ、次時にテキストマイニングを活用する。	目標に適した言葉を考えている。【思考・判断・表現】(スプレッドシート)
本時	9/7 (水) 学級活動	○運動会の学級目標を決定する。	Jamboard を活用しながら、運動会の理想像を考え、実現するために必要な学級の目標を設定する。	学級や自分に適した目標を設定している。 【思・判・表】(Jamboard、キャリアパスポート)
事後	9/26 (月) 学級活動	○自分のやるべきことを見直し、今の練習や準備の参加態度を見直す。	前時に作成した Jamboard や自分のキャリア・パスポートを見直しながら、目標達成に向けた行動ができていないかを反省し、残り1週間の練習や準備に生かす。	設定した目標の達成に向けて行動できているかを評価している。 【思・判・表】(観察)
	10/1 (土)	運動会当日 ○理想像の実現に向けて行動する。	学級や自分の目標を意識して行動するように声をかける。	学級や自分の目標の達成に向けて、意識して参加している。【主体的】(観察)
	10/4 (火)	学級活動 ○演技や活動の振り返りを行う。	あらかじめ用意した GoogleForm を活用して学級や個人の目標に対する達成度合いを評価する。	設定した目標の達成に向けて行動できたかを評価している。【思・判・表】(GoogleForm、観察)

(2) 本時の指導と児童の活動

本時のねらい

○班や学級の意見を共有し、学級をよりよくするための運動会の学級目標を設定している。

	主な活動と児童の反応	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】 (評価方法)
つかむ 5分	<p>1 議題を確認する。</p> <p>○事前の活動でシートに記入した言葉を、モニターに提示し、学級の傾向を共有する。</p> 	<p>・運動会に向けた学級目標を決定することを確認する。</p>	
			<p>テキストマイニングにより、事前の児童の考えの傾向を共有した。</p>
深める 20分	<p>2 Jamboard を活用し、どんな運動会にしたのかを班で意見交換をする。</p>  <p>3 班ごとに学級目標の案を決める。</p> 	<p>・班ごとの Jamboard を用意する。</p>	<p>◎目標設定に向けて、班の話合いや学級会を適切に進行したり参加したりしている。【知識・技能】(Jamboard、観察)</p>
			<p>他教科でも Jamboard を活用しており、本時でも班でのキーワードの抽出、加除修正の時に活用した。</p>
			<p>事前の個の思いや願いを1人1台端末に記録したスプレッドシートデータを、本時の話合いの場面で説明の際の資料とした。</p>
共有 する 5分	<p>4 班の意見交換を全体で共有する。</p> <p>○多くの班が、6年生として①最後の運動会であること、②下の学年をひっぱるリーダーであ</p>	<p>Jamboard を提示しながら全体で意見を共有する。</p>	

	ることを根拠としていた。		
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>各班の出された意見の共通する点を調整し、学級の運動の目標を合意形成した。</p> </div>	
決める 15分	<p>5 発表された内容をもとに学級目標を決定する。</p> <p>☆合意形成された運動会の学級目標案 「みんなで協力して最後まで全力をつくそう」</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>本時の学級目標を決める学級活動(1)をふまえ、個人のめあても作成する。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決定した目標やめあてはキャリアパスポートに記入させる。</li> <li>・ワークシートに記入させる。</li> </ul>	<p>学級や自分に適した目標を他者の意見を踏まえて考えている。</p> <p>【思・判・表】 (JamBoard、キャリアパスポート)</p>



▲各班の Jamboard。4つの領域で整理。

## 6 実践を振り返って

本事例を通して、①運動会を自分事として捉えること、②一人一人の思いをもった意見を出出することができることの2点に重点を置いて実践した。学級として合意形成することができたが、各班から出された意見の共通事項をつなぎ合わせることにとどまってしまった。「つなぎ合わせる」だけでなく、「焦点化する」「優先順位をつける」といった合意形成の方法についても経験させておくことが大切である。より効果的に学級として行事の目標を設定するには、児童会のスローガンや年間の学級目標などと関連付けたり、高学年では係や分担など児童個人によって個に応じて立場や見方が異なるところを踏まえたりしながら、目標を設定していく必要がある。